

(株)常盤電機

各務原市・製造業

従業員数/男性57名 女性20名 計77名 ※令和6年12月現在

**エクセレント
POINT**

- ① 社用車をプライベート利用できるサービスを導入
- ② 若手含む多くの社員が一丸となって人材採用に注力
- ③ ベテラン社員が講師を務める「マイスター塾」で、技術伝授とコミュニケーション活性化

製造業

社長の1on1面談で働き方改革が前進

2022年に就任した林玄悟社長が大切にしているのは社員の声。新たに「全社員との1on1面談」を始め、仕事への思いや悩み、提案を直接聞くようにした。その結果、業務改善や働き方ルールの見直しが一気に進んだ。

早々に導入したのが社用車をプライベートでも使えるようにするサービス「しえあくるME」。これまで営業職はマイカーで出社後、営業車に乗り換えて取引先を訪問して



1on1面談で、社員から仕事への思いや悩み等を聞く林玄悟社長(右)。面談で出た声は、業務改善や働き方ルールの見直しにつなげている。

いたが、直行直帰が可能になった。業務とプライベートは、車載器のボタンを押して区別する。現在は3人が利用しており、中にはマイカーを手放した社員も。会社側も契約駐車場の台数削減などのメリットがあった。

人材採用は「会社の未来を創る重要な活動」と位置付け、多くの社員が携わるようにしている。説明会やインターンシップの企画・運営を若手が行うこともあり、社員が他部署の協力も得ながら会社について理解を深め、自らの言葉で伝える貴重な機会となっている。成果は上々でインターンシップ参加者を含む、毎年複数人の新卒採用につながっている。

若手社員の育成に向けては、ベテラン社員が講師を務める「マイスター塾」を2〜3週間に一度開き、実践的な内容を伝える。ベテランと



ベテラン社員が講師を務めるマイスター塾では、若手社員が機械等を操作しながら実践的な内容を学ぶ。

若手が共同で担当しており、世代を超えたコミュニケーションの場にもなっている。経験豊富なマイスターの解説により、若手社員から有意義との声も聞かれる。

定年間近の社員に向けては、60歳になる半年前に60〜65歳の6つの年齢区分から退職年齢を選択できる制度を設け、本人の意向に沿ってキャリアプランを形成できるようにしている。